



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com

市民の会 第1回講座

参加者の意見や要望が次々に 2027 年市長選挙見据えて



参加者で会場いっぱいとなった第 1 回市民講座



開会あいさつの
河村智恵子代表委員

8月23日、平和とくらしを大切にする北九州市民の会は、2025年第1回の市民講座を戸畑生涯学習センターで開催し49名が参加しました。

最初に北九州市民の現状について荒川徹市議員から①高齢化、②市民所得、③人口、④市民要望等についての報告があり、発足から2年6カ月の武内市政「儲かり市政」の問題点（①国に追随する市政、②これまでの赤字の大型開発の検証をしない、③徹底した市民サービス削減、④パフォーマンスと目新しい事業を大宣伝、⑤議会との合意形成を軽視、市長に権限集中の組織改正）の問題点を指摘し、自治体の本来の役割「福祉の向上」をとりもどすたかがい求められていることを訴えました。

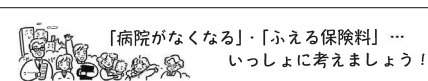
会場からは、道路の草刈、学校体育館のエアコン設置、守恒小学校の雨漏り、若松半導体工場誘致によるPF6S汚染が心配、草刈を自治会押し付けている

等の質問や要望が次々に出されました。

また、フリートークでも、公的な特別養護老人ホームの確保、気候危機問題、地元の声を聞かないですめる企業誘致、学校給食無償化と質の向上、少人数学級、学校教室3階の冷房温度調査、南海トラフ地震津波被害想定地域への門司港複合公共施設建設中止、学校トイレの洋式化などの意見・要求が出されました。

まとめて石田康高事務局長代行は、出されて意見や要望を具体化して取り組んでいくとともに、「武内市政の実態」と「改革すべき課題」について、市民のくらし、医療・福祉、教育、街づくり、地域経・中小企業、平和施策 - などの分野別の学習会を2カ月に1回のペースで開催することを提案し、当面、10月11日（土）14時、こどもホール（黒崎コムシティ7階）、医療・福祉分野について長友薫輝准教授（佛教大学）を招いての講演への参加を要請しました。

1年5カ月後の市長選挙へ向けて、市政の現状を知って、市民へ知らせ、市民の願を出し合い、暮らしを応援する市政刷新へ結集していく取り組みをスタートさせようと呼びかけました。



2025 年 第 2 回 市民講座 「全世代型社会保障改革」とは何か？ どうなる医療・介護・福祉のこれから



講演 長友 薫輝さん
（ながとも まさてる）
1975 年宮崎県生まれ。自治体問題研究所理事、日本医療総合研究所理事、日本医療福祉政策研究センター長など
著書 / 全世代型社会保障改革とは何か - 国民健康保険と医療保険のゆくえ - 野村浩一郎監修 自治体職員のための2025 - 2033
「どうして」で見た介護・医療・介護の今後 - 野村浩一郎監修 - 地域医療の未来を創る - 地域医療に携わる医療・介護従事者 / 地域の未来は命の輪 など

いま、全世代型社会保障改革の一環として、医療においては給付抑制、病床削減、保険料などの負担増がすすまれているとされています。国民健康保険（国保）や後期高齢者医療制度は保険料の負担増や窓口負担増などです。国保の北九州市政では、医療と介護、そして福祉はどうなるのでしょうか？ いっしょに考え対応策を話し合い、市民に知らせていきましょう。安心・安全な住みよい北九州市をつくるために力をあわせてがんばりましょう。どなたでも自由に参加できます。みなさんの参加をお待ちしています。



10月11日（土）
午後2時～4時予定
こどもホール（黒崎コムシティ7階）
資料代 200円

主催 平和とくらしを守る北九州市民の会
連絡先 北九州市小倉北区田町13-21 ☎093-592-5000

補聴器購入に助成制度を！ 報告・学習会に 45 人参加

8月30日、「高齢者補聴器購入助成制度の創設を求める会」は、昨年2月23日に「会」を結成してから1年6ヶ月の活動報告と、認定補聴器技能者を講師に学習会を開催し、市内各団体から45人が参加しました。

集会は、河村智恵子代表委員が司会進行を務め、最初に補聴器店・リオネット小倉店の西尾勝治店長と言語聴覚士の田島康宇氏が、「もしも聞こえにくくなったら」「難聴と認知症の関係性」「上手な補聴器屋さん選び」「補聴器のよくある疑問」の4つの分野から講演を行いました。両氏は認定補聴器技能者です。

続いて石田康高代表委員が、昨年10月に陳情した個人署名11,397筆、医療機関26を含む28の団体署名は任期満了で廃案となったが、今年2月に新議会に提出した187の団体署名は継続審査となっています。

この4年間で13倍の473自治体（今年7月17日現在、）に広がった補助制度を北九州市で必ず実現するために、更に多くの団体に呼びかけ、運動を広げようと呼びかけ、各団体、各区の会で学習会などに取り組み、11月9日（日）10時、戸畑生涯学習センターにて、第二次署名運動のスタート集会を行うと提案しました。署名は来年6月議会への提出を目指し、個人署名3万筆、団体署名30を目標に取り組みます。

健和会の永末氏、新婦人の能美さん、年金者組合の小田氏が運動成功への意見を述べました。三輪幸子代表委員が11月9日のスタート集会の成功と補聴器助成の実現に向け、全力で頑張ろうと、閉会の挨拶を行いました。



共産党市議団が市政懇談会 市政改革へ次々と意見、要望！

9月6日午後、ウェル戸畑12階会議室にて、日本共産党市議団は9月議会を前に、市政懇談会を開催し、67人が参加しました。司会を宇土浩一郎市議が務め、荒川徹市議団長の挨拶に続いて、田村貴昭衆議院議員が挨拶した後、永井佑市議がパワーポイントによる武内市政の特徴と問題点を報告しました。

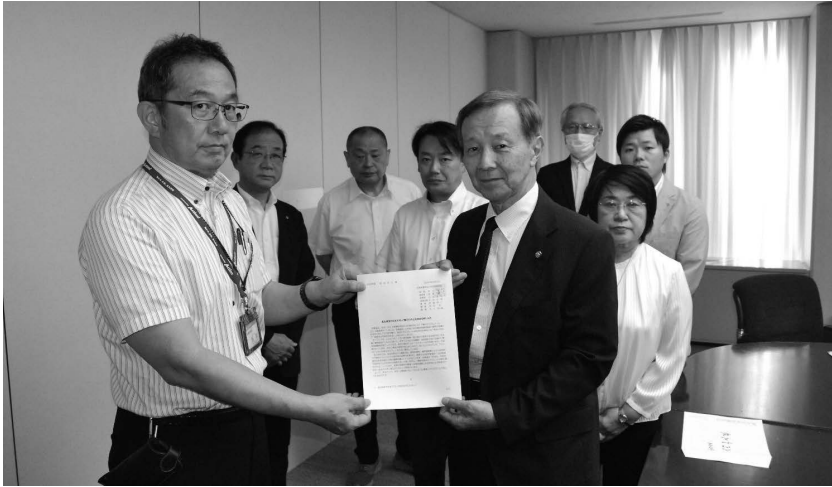
参加者から、報告と武内市政に対する質問コーナーでは、「所得税法56条の廃止の意見書」「本数も料金も公共交通機関は役割を果たしていない」「建設労働者の退職金共済制度」「草刈りが不十分なため、交通障害の要因となっている」「全国一の人口減少に対する市議団の政策」「市営住宅の空きが多く、その対策は」「皿倉山のロングスライダー事故問題」「国民健康保険の滞納者対策とマイナ保険証問題」「米の高騰対策」など、日々の暮らしと街づくりまで、次々と意見・要望が出され、各市会議員と田村衆議院議員より、その対策と今後の運動への協力など、回答と訴えがされました。

特に、武内市政がスタートして2年半、市民の暮らしに目を向けず、パフォーマンスと大企業中心の市政運営が余りにも酷い状況が浮き彫りになり、市政改革へ市民運動を広げる懇談会となりました。

閉会の挨拶で大石正信市議は、北九州空港の軍事利用など平和を脅かす動きに対する運動と9月議会への傍聴を呼びかけました。



「北九州市でのオスプレイ飛行の中止を求める申し入れ」を行う市議団



欠陥機オスプレイの飛行中止を！

佐賀空港配備に反対する市民運動へ参加を呼びかけます

防衛省は8月12日、陸自オスプレイ全17機の佐賀空港（佐賀駐屯地）への配備を完了しました。佐賀駐屯地は本来、干拓事業の補償として漁業者に払い下げられた共有地で、254人全員の同意なく売却はできないと指摘されています。

オスプレイは昨年、屋久島沖で墜落し8人全員が死亡、与那国駐屯地でも機体損壊事故を起こすなど事故が相次ぎ、「欠陥機」との批判が強まっています。防衛省は九州7県85か所での低空飛行訓練の可能性を認め、北九州市でも夜間・低空飛行が計画されています。市街地や病院上空は制限するとしながら、最終判断はパイロットに委ねられており、市民の安全への懸念が高まります。

日本共産党北九州市議団は8月26日に佐賀空港を視察し、市に飛行中止を求めました。さらに11月7日には佐賀空港での視察と市民団体との懇談を計画しています。

参加
案内

平和とくらしを守る北九州女性の会・学習会

平和・女性と戦争

なぜ進まないのかジェンダー平等の社会
これからのわたしたちの課題

なかなか進まないジェンダー平等の社会、排他主義の広がり・・・
人権が大切にされない社会、強さを求め、少数の声を押しつぶそうとする社会は
戦争へと近づいているように感じるこの頃。
この社会をどう見るのか、わたしたちにできる事は何か。
平和の手綱をしっかりと握って離さないために、ともに考えましょう。



いのした あきら
講師：井下 顕さん

弁護士・六本松総合法律事務所所属
福岡県平和委員会代表理事

資料代：200円
どなたもお気軽にご参加ください。

日時 2025年11月8日（土）
13:00～15:00

会場 戸畑生涯学習センター
戸畑区中本町7-20

主催：平和とくらしを守る北九州女性の会

連絡先：北九州市民の会 (093-592-5000 小倉北区町13-21)

必ず実行を！「市長の来年度実施は市民との約束」 学校給食の無償化と質の向上をセットで“運動を継続”

9月20日、学校給食の無償化をめざす会は八幡西生涯学習総合センターにおいて、『学校給食の無償化実現へ「これまで」と「これから」』の集会を開催し59名が参加しました。



開会あいさつで安永武会長は、この集会の目的について「これまでの運動の成果と到達点を共有し、無償化の実現と質の向上を求める運動を、みなさんから意見や知恵を出しあってすすめていきましょう」と訴えました。

これまでの活動について宮崎雄士さんは「市民の声が力ギだった劇場」と題して講談調で報告を行いました。各区での給食カフェや学校門前・スーパー前・公園などで署名の取り組みをパワーポイントで紹介しながら「2万5000筆が集まったのであります」拍手、でもりあがりました。「市民の声が議会を変え、市長を変えて、政治を変えられる」実感を得たと報告。また「みんなのメッセージボード」は155人分が上映紹介されました。

9月17日、本会議質問した永井佑議員から、来年度無償化に向けての市長の答弁を求めましたが、市長から答弁はなく、財政局長と教育長が「国の動向を注視しており、プロジェクトチームで検討中」との答弁に終始した内容が報告がされました。

会場の発言やメールでは「給食は食育」「学校給食は市全体の予算の0・5%で、優先順位の問題」「義務教育にお金がかかる」「子どもの成長をささえる、栄養のある給食を無償で」「地域の農産物利用で経済効果も」「有機野菜は販路がない、支援を」などの意見が出され、ホワイトボードに列記して下記の内容で集約し決定しました。次の事務局会議で市長へ届ける日程等を検討することになりました。

◎給食は食育であり教育です。無償化に必要な予算は0.5%、優先順位を変えることで可能です。教育に差別があってははいけません。国を待たずに、市独自ですべての学年での無償化を早急に。

◎市長の表明は、市民との約束です。無償化を必ず実行してください。

◎地元農産物を取り入れて栄養のある給食を。有機栽培農家を支援してください。無償化とともに、質の向上はセットで実施を。

参加
案内

平和な日本をめざして

7月の参議院選挙では自民・公明が衆議院に続いて少数与党となりました。同時に差別や分断をあおる政党が議席を伸ばし、戦争へとつながるのではと不安が広がっています。トランプ政権の圧力で国民の暮らしも厳しくなるばかりです。
平和と暮らしを守るため、政治をかえる運動を幅広い方々と共に広げようと、講演会を開催することにしました。どなたでもご参加ください。

- ◎ 日時・2025年10月12日(日)14時～16時
- ◎ 場所・若松ポートレースクレカ2F市民ホール
- ◎ 表題・「国民が主人公」の平和な日本をめざして
ー政治資金と壊憲ー

◎ 講師・上脇博之教授

現在神戸学院大学教授 以前北九州市立大学教授

憲法学を専門とする

政治国家論、政治資金問題を深く研究

政治資金オンブズマン代表

不正使用の疑いがある政治資金の告発を行う

しんぶん赤旗が解明した自民党裏金疑惑を事件として告発

政治の透明性を高め、民主主義を強化する正義の告発者

◎ 講演後革新懇の総会

◎ 資料代・500円



主宰：平和・民主・革新の日本をめざす若松の会（若松革新懇）

連絡先：新日本婦人の会若松支部 751-5639

三輪 090-9591-8421

南部 090-4344-4724